

各位

2022年3月1日

医療機器参入へ オンキヨー補聴器を販売開始

株式会社ファーマフーズ(本社：京都市西京区、代表取締役社長：金武祚)は、業務提携先であるオンキヨー株式会社(本社：大阪府東大阪市、代表取締役社長：大舘宗徳、以下、オンキヨー)が開発する補聴器の販売を開始いたします。

医薬・医療分野を強化

当社は「中期経営計画 2026」の重点分野とのひとつとして、医薬・医療分野の強化を掲げております。バイオ医薬品の分野では、独自のニワトリ抗体作製技術を用いた抗体創薬を目指しております。一方、次世代ヘルスケアの分野では、デバイスを用いた「見る」「聴く」「歩く」といった行動のセンシングによる、日常の健康状態に応じたソリューションの提供を目指しております。今回、オンキヨーとの業務提携により、医療機器市場へ参入いたします。

軽度から中等度難聴に適応

加齢とともに聴力は低下していきます。この状態が継続すると、日常生活における仕事や睡眠へ影響を与えるだけでなく、認知機能の低下をもたらすなど健康へ影響を及ぼすことが報告されています。したがって、軽度から中等度難聴の段階で、補聴器の使用を開始することが必要です。

低・中価格帯商品で最高の性能を持つオンキヨー補聴器

補聴器普及率が低い日本では、低・中価格帯を普及させる必要があります。オンキヨー補聴器は、定価 49,800 円（非課税・片耳）と、購入しやすい価格です。

しかも、同価格帯商品では音を増幅するパワーが最大級[※]であると同時に、最小の形状も実現し、利用者に配慮した目立たない構造となっております。

その他、雑音やハウリングを抑制するなど音響機器で培ったオンキヨーならではの技術が詰まっております。当社では、この補聴器を3月下旬頃の新聞広告を皮切りに、販売を開始いたします。

補聴器通販業界No.1を目指す

日本人の耳に合う、目立たない形状

ファーマフーズのサステナビリティビジョンは、「100歳時代に価値ある豊かさと価値ある健康を」社会に提供することです。補聴器の使用がもっと当たり前になるように、新たな健康の価値観を提案することにより、補聴器通販業界No.1を目指します。

健康食品や化粧品にとどまらず、医療機器等のデバイスの普及を通じて、100歳時代にイキイキとワクワクを提供できるよう、事業に取り組んでまいります。



お求めやすい価格でありながら高性能な
オンキヨー補聴器



※ 最大音響利得 49dB（高周波数平均値）はこの価格帯商品では最大級